

私…Pさんの
Hなお姉ちゃんに
なります!!



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

①くん…

起きて
もう朝よ♡

ポリッ

ん…
千雪…?

こーら♡
『千雪お姉ちゃん』
でしょ?♡

朝、私は
お姉ちゃんとして
①君を優しく
ゆり起こす…

お、おはよう
千雪お姉ちゃん…

けど私と①くんは
本当の姉弟じゃない

ふふ…
今日も一日
お姉ちゃん

ちよん♡

いっぱい
『なかよし』
しようね♡

私はアイドルで
①くんはその担当の
プロデューサーだ

—その日、私は
Pさんの家へある
決意をして訪れた

プロデューサーさん…
私、覚悟してきました…!

Pさんの為に
Hなお姉ちゃんに
なります…!!

そう…Pさんの
Hなお姉ちゃんに
なるために…!!

どうした
んだ千雪?

Pさんは面食
うって私に
言われるまま

呆然と背中を
流されていた

とにかく一生懸命
プロデューサーさんの
身体を洗っている…

お姉ちゃんが全部
が洗ってあげる
からじっとしててね♡

プロデューサーさんの
身体の方が敏感に
反応してきて…



本来越えては
いけない一線を
越えてしまった

ここのお世話も
お姉ちゃんに
任せてね...♡

あっ
熱い

はま

びゅ
るん

―落ち着いた後
Pさんにワケを話すと…

えっPさんが昨夜
『Hなお姉ちゃんに
なつてよ〜ねえちゃんとお風呂にはいろいろ編〜』
を送ってきたのは…

私にHなお姉ちゃんに
なつて欲しいから…
じゃないんですか?!

Pさんからのアプローチ
と思つて受けとつたのは
私物の音声作品だったようで



私…そんな
勘違いで
あんな事まで
しちゃうなんて…

千雪は何も
悪くないよ!!

プロデューサー
さん…?

元はといえば
俺の手違いが原因で
千雪は全力でそれに
応えてくれた
だけじゃないか!!

千雪が俺の…
Hなお姉ちゃんに
なつてくれたら
最高に決まってる!!



だから…!!

もう…そこまで
言われたら…



PさんのHな
お姉ちゃんに
なるしかない
じゃないですか♡



まだちょっと残ってるけど
1時間くらいですむよ

Pさん、まだ
お仕事かかり
そうですか？



そんなこんなで
私たちは…

仕事ではアイドルと
プロデューサーの関係を
続けながら…



それじゃあ…
今夜もPさんの
お姉ちゃんに
なっていていいですか？



ふふ…先に帰って
待ってるね…♡

プライベートでは
Pさんのお姉ちゃんに
なる2重生活を
送るようになり…



う、うん…



お仕事終わりに
Pさんのお家に
訪れては…

おみみ掃除
するから動い
ちやだめだよ♡

野菜も沢山
食べま
しょうね♡

普通に食べ
られるって…



わっ肩力チコチに
こっちやってる…!!

⑨くんはいつも私達の
為にお仕事頑張って
くれてるもんね…
えういえうい♡

Pさんのお姉ちゃんに
なりきって、お仕事で
疲れたPさんが体を
休めるようお世話をして…



そろそろお姉ちゃん
とおねんねしよっか?

そして寝る前には…



千雪...千雪
お姉ちゃんのおっぱい...!!

ふふ...♡
一生懸命吸い付いて...♡

そんなに♡くんは
おっぱいが好きなのね

もう……こっそりく
元気になってるわね♡

私の口で気持ちよく
してあげるからね……♡

どうかしら……？
ろうはひら……？

そう……今私は
PさんのHなお姉ちゃん
としてお世話している

うっお姉ちゃんのお口の中……
気持ち良いよ……！

こんな事……
アイドルとPが
本来しては
いけないから……

気持ちよくなつて
くれてると嬉しいなあ...

Pさん...すごく
切なそうな顔してる...
もうイきそうなんだわ...

いっぱい気持ちよく
なつてもうええよつた
頑張らなきゃ...!

あつ...すこ...♡
こんなにくさん
私の口の中で♡

はあ...♡

ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

はっ
千雪お姉ちゃん…
お姉ちゃん…っ

ど、どうしたの
Pくん…そんな
興奮して…♡

あっ割れ目に
すごい勢いで
こすり付けて…♡

Pくんの
お姉ちゃんなのに…♡

私、Pさんの
アイドルで

もう俺我慢なんて
出来そうにない…

しちゃいけない事
がしたくて我慢
できないんだ…♡

このままでと
Pくんのおちんちんが
私のおまんこに
挿入いっちゃう…

千雪と…
お姉ちゃんと
したい…っ

いいのね…っ
あっ…ああ…っ

ああ…!!



お姉ちゃんの膣内っ
ぬるぬるですごく
気持ちいいよ…っ!!

挿入っ
ちやった…♡

敏感な乳首の
さきつぽばかり
弄らぬちやってる♡

私もすごく
気持ちいいわ…っ

ごめん…俺…
お姉ちゃんが何でも
受け止めてくれ
るから…我慢できなくて

ふう、
いいのよ…♡

②くんの好きに
動いて…っ

ああ…っ♡

はちゅ
ちゅ

はちゅ

はちゅ
はちゅ

はちゅ
はちゅ

はちゅ

はちゅ

うっ…
射精る…っ

んゅるる

ひゅるる

射精てる…♡
子宮の奥まで
Pさんの熱いのが
ことしてる…♡

いっしょっ…
いっしょっ…

もうっ強引に
膣内^{なかつ}で射精して

困ったPくん…♡

あんなにされて
私の方もスイツチ
入っちゃったみたい…♡

あつ…まだ
イったばかり
だから…っ

でもすぐカチカチ…
まだ出来るわよね…?

お姉ちゃんが
してあげるから

そのまま動いちゃ
だめよ♡

Pさんのガチガチ
おちんちん…♡

私のおまんこを
下からぐりぐり
突き上げて♡

んっ…
んっ…♡

おっこ…♡

⑨くん気持ちいい?!
いきそう??

お姉ちゃんも
気持ち良くてっ♡

だめっ♡
顔崩れちゃうっ♡

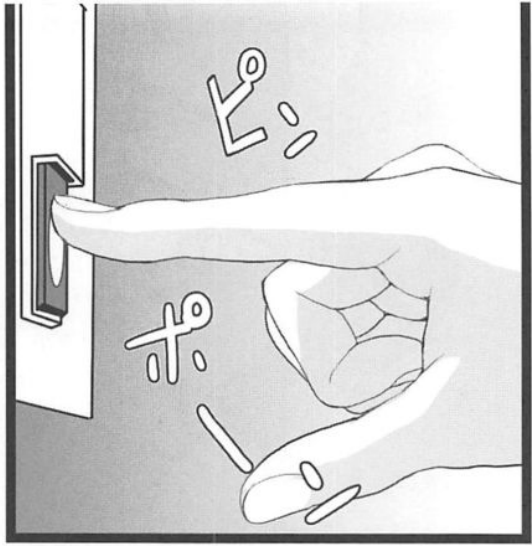
その後も何度も
膣内から溢れるくらい
私たちは交わりました



こんな朝早くから
なんだろう？

はい

ちゅん♡



ポッ

ポッ



先日、P様より……
いただいた文に
添えられた意図を……

P様の真意を汲んで
凛世は……覚悟を決めて
まいりました……




り、凛世？
どうしたんだ？

そのような
自明の事……
お聞きになら
ないでください



凛世は……
プロデューサー様の

えっちなママ
淫らな母に
なります……♡



誌名：「私…PさんのHなお姉ちゃんになります」

発行日：2019年9月22日

サークル：UPA24 著者：うば西。

連絡先：upa24maru@gmail.com

印刷所：Print Walk

●成人向け作品につき18歳未満の未成年による購入・閲覧を禁じます。